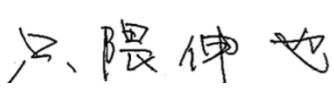


会議の開催結果について

- 1 会議名 令和7年度 第2回 上尾市立中学校部活動地域移行
推進協議会
- 2 会議日時 令和7年10月8日(水)
午前・午後 2時30分 から
- 3 開催場所 上尾市青少年センター 会議室2・3
- 4 会議の議題
(1) 令和7年度 事業の進捗状況について
(2) 令和7年度 地域クラブ活動実証事業の進捗状況について
(3) 「上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針」の一部改訂
について
- 5 公開・非公開
の別 公開
- 6 非公開の理由 無し
- 7 傍聴者数 0人
- 8 問い合わせ先 上尾市教育委員会学校教育部指導課
(担当課) 048-775-9672

会 議 録

会議の名称	令和7年度 第2回 上尾市立中学校部活動地域移行推進協議会	
開催日時	令和7年10月8日(水) 午後2時30分から午後4時30分まで	
開催場所	上尾市青少年センター 会議室2・3	
議長(委員長・会長)氏名	只隈 伸也	
出席者(委員)氏名	萩原 康彦 小林 恵実子 齋藤 順一 金子 輝大 高山 亮平 宮田 純生 根本 和彦 熊田 大樹	
欠席者(委員)氏名	永井 基生	
事務局(庶務担当)	瀧澤 誠 島田 栄一 武田 直美 森 正典 川上 浩行 丸山 雄気 玉造 勇輝 佐野 秀武 遠藤 誉幸 高橋 恭之 ※AGEO地域クラブ統括コーディネーターも出席	
会 議 事 項	1 議 題	2 会 議 結 果
	1 報 告 (1) 令和7年度 事業の進捗状況について (2) 令和7年度 地域クラブ活動実証事業の進捗状況について 2 協 議 「上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針」の一部改訂について	別紙のとおり
議 事 の 経 過	別紙のとおり	傍聴者数 0 名
会 議 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ●令和7年度 第2回 上尾市立中学校部活動地域移行推進協議会資料 ●別冊資料①スポーツ庁 施策説明資料 ●別冊資料②夢を育み 未来を創る 上尾の「部活動改革」教職員用リーフレット(第3号・第4号) ●別冊資料③夢を育み 未来を創る 上尾の「部活動改革」保護者用リーフレット(第8号・9号・10号) ●別冊資料④各種アンケート調査結果 ●別冊資料⑤「AGEO地域クラブ」実証事業実施要項 ●別冊資料⑥「イングリッシュサロン」事業参加者募集要項(追加募集) ●別冊資料⑦上尾市における部活動の地域展開に向けた基本方針(一部改訂【案】) 	
<p>議事のでん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。</p> <p style="text-align: center;">令和7年 11 月 7 日</p> <div style="text-align: right; margin-right: 100px;">  </div> <p style="text-align: center;">議長(委員長・会長)の署名 _____</p> <p style="text-align: center;">議長に代わる者の署名 _____</p> <p style="text-align: center;">(議長が欠けたときのみ)</p>		

議事の経過

発言者	議題・発言内容・決定事項
只限委員長	令和7年度 第2回 上尾市立中学校部活動地域移行推進協議会は、「審議会等の会議の公開に関する指針 3 会議の公開」により、公開するものとなりますが、委員の皆様には御賛同いただけますでしょうか。
各委員	賛同します。
只限委員長	では公開といたします。 事務局にお尋ねします。本日、傍聴の申し出はございますか。
事務局	本日の傍聴の申し出はありません。
只限委員長	承知いたしました。 それでは次第に入ります。 最初に、報告（1）令和7年度事業の進捗状況について、事務局より説明願います。
事務局	報告（1）令和7年度事業の進捗状況について、説明いたします。 最初に本資料1頁「資料1」を御覧ください。令和7年10月8日時点の、本事業に係る事業実績一覧となります。 続いて2頁を御覧ください。こちらは、第1回協議会にて配布しております「今年度の推進イメージ（ロードマップ）」を再掲したものとなります。2頁下段につきましても、同じく第1回協議会にて提示いたしました「今年度の重点」と「主な取組」を箇条書きにして一覧としたものとなります。本日の主な取組報告については、この重点項目ごとに報告をさせていただきます。 それでは、主な事業実績内容について御報告いたします。 最初に資料3頁「（1）各種研修会等への参加」を御確認ください。 7月の第1回協議会以降、スポーツ庁、埼玉県教育委員会がそれぞれ主催したフォーラム、シンポジウムに出席いたしました。 特に、8月に開催されましたスポーツ庁「部活動の地域展開・地域クラブ活動の推進に向けた産官学連携フォーラム」には、西倉教育長が出席し、国における今後の見通し等についての情報提供を受けてまいりま

した。本日は、フォーラムにおいて、スポーツ庁地域スポーツ課が提示した資料を「別冊資料①」として配布しております。

「別冊資料①」では、国が組織した「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」最終とりまとめのポイントがまとめられております。資料では、今後、学校部活動から地域クラブ活動への転換を表す名称について「地域移行」から「地域展開」に改称されること。来年度以降、令和8年度から令和13年度までの期間を「改革実行期間」として定め、3年後の令和10年度までを「前期」として「中間評価」が実施されること。そして令和13年度までの改革実行期間内には、原則、全ての部活動において地域展開を実現すること等が示されております。

埼玉県教育委員会主催「これからの部活動を考える～地域クラブ活動シンポジウム埼玉2025～」においても、スポーツ庁より、同様の情報提供等がございました。本資料4頁下段に、両研修会等から、今後の方向性についてのポイントをまとめたものを掲載しております。なお、本市における「部活動地域移行推進事業」における取組や方向性と、大きな相違点はないと認識しております。

続いて、資料5頁(2)を御覧ください。「①『AGEO地域クラブ』組織の完全構築」に関しましては、現在、「AGEO地域クラブ」が学校施設を使用する際の規定の明確化を図っていること、困窮家庭の生徒が適切な支援を受けられるよう、「地域クラブ活動参加者支援制度」の導入に向けた検討を行っている段階となります。

次に、「②本事業に対する教職員・保護者・地域関係団体の理解促進」に関しましては、①教職員リーフレットの発行 ②地域・保護者用リーフレットの発行 ③地域クラブ活動ミーティングの開催について記載いたしました。

地域・保護者用リーフレットにつきましては、「別冊資料③」として、第8号から第11号まで配布しております。特に第9号から「教えて! 『AGEO地域クラブ』Q&Aコーナー」を連載し、地域・保護者の皆様の御質問に応えられる内容となるよう工夫をいたしました。

続いて資料7頁を御覧ください。「④地域クラブによる大会参加の在り方に関する検討」に係る内容となります。最初に、今年度新設いたしました「部活動地域移行推進タスクフォース」における協議内容、委員からの主な意見について掲載いたしました。

「部活動地域移行推進タスクフォース」につきましては、各校の主幹

<p>只限委員長</p>	<p>教諭等が出席し協議を行っております。</p> <p>会議における意見につきましては、時間をかけて、制度、体制、環境を整備する必要があるものが多く、すぐに対応することができないものもございますが、今年度の取組、そして次年度以降の方針を定める上で大変有意義な資料となっております。</p> <p>次に、各種調査の実施について、記載のとおり、(ア) から (カ) まで、全6種の調査を実施しておりますので「別冊資料④」を御確認ください。</p> <p>報告(1)についての説明は以上となります。</p> <p>スポーツ庁主催「産官学連携フォーラム」に参加したとのことですが、「別冊資料①」には重要なことが多く載っているようです。こちらをもとにして、さらなる地域移行の推進を図っていくことになると思いますが、国の動向について、もう少し説明をお願いできますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>それでは「別冊資料①」で補足させていただきます。</p> <p>資料には「部活動の地域展開等に関する政府方針」が記載されております。国は、スポーツ基本法の改正に加え、各種方針、計画の一部に、「部活動の地域展開」の推進に係る内容を加えるなど、これまで以上に改革への意思を強く表明するようになってきていることが伺えます。また、現在、一般のクラブチームと地域クラブ活動の線引きがはっきりできていないことを課題と認識し、「認定制度」を設け、今年度中に国としての考えをまとめる予定があると明らかにしております。さらに、国としての受益者負担額の目安を示したいとも考えているようです。すでに調査についても行われており、「3,000円未満まで」を目安として示したい意向が見て取れます。</p> <p>以上を踏まえますと、国としては、大まかな方針を示すフェーズから、各論についての考えを示すフェーズに移行していることが読み取れ、改革に係るペースを上げ始めていると認識しているところでございます。</p> <p>補足は以上となります。</p>
<p>小林委員</p>	<p>「受益者負担」を理由に、クラブに参加できないお子さんが出ないよう、「自治体の補助」等を積極的に検討してほしいと思います。</p>
<p>高山委員</p>	<p>地域クラブ活動に移行(展開)されても、子供は変化に対して柔軟に対応していくと思います。是非このまま推進してほしいです。</p>

	<p>また、「部活動地域移行推進タスクフォース」における話し合いは、大変重要だと考えます。調査の結果を見ますと、先生方は「平日の活動のみでのチーム力強化は難しい」という意見が出ていることが伺えます。しかし、そもそも目指す方向性の優先順位はどうなのでしょう。上尾市として「何を優先するのか」指標をはっきりさせれば、このような意見ばかりにはならない気がします。</p>
根本委員	<p>「部活動地域移行推進タスクフォース」では、学校の意見を吸い上げて話し合っています。様々な意見の教員がいますが、その中で「部活動の指導はしたくない」という教員もいることは事実です。</p>
宮田委員	<p>今までの部活動指導は、教員がほとんどボランティアにも関わらず、使命感をもってやってきたと思います。しかし、部活動指導を行うことで、時間外勤務が多くなることについては常に厳しい意見があります。そのような中でも、教員が、子供たちのためにモチベーションを上げて指導してきたのだと思います。このような中、部活動の地域移行が進むことで「顧問をやらなくて良いのならやりたくない」という教員も増えています。一方で、平日に関しては、勤務時間内であれば、指導は可能であると考えます。</p> <p>大会への参加については、「参加する以上、良い結果を残したい」という考えをもっている教員がいます。しかし、活動時間が制限されることで、目標達成が難しくなるということもあります。</p> <p>また、令和13年度までの6年間で「改革実行期間」とされたことについては、国の姿勢に疑問を感じます。</p>
只隈委員長	<p>現在、本市が進めている取組をやめてしまえば、中学生が路頭に迷ってしまいます。現時点で、修正することも必要だと思いますが、事業をしっかりと進めていくことを前提にしなければなりません。</p> <p>指導者を確保するための手立てとして、教員の兼職兼業に対する現場の意識は如何でしょうか。</p>
根本委員	<p>地域クラブでの指導について、教員は「手当がもらえるから兼職兼業をして指導に従事する」という考えはもたないと思います。手当の額を増やせば、教員の兼職兼業が増えることは無いと思います。</p>
宮田委員	<p>「AGEO地域クラブ」が立ち上がったことで、今まで行っていた土日の部活動を「やらなくてもよい」と考える教員は増えました。時間が</p>

	<p>でき、家族で過ごすこと等が増えたようです。教員の兼職兼業は、「指導をしたくなければなくてよい」という選択ができることになるのでとても良いと思います。</p>
<p>齋藤委員</p>	<p>基本方針には「市内の部活動設置状況」が記載されていると同時に、児童の意識として「入りたい部活動がない」等の意見があります。また、多忙につき「休日の部活動までしなければいけないのか」と考える教員がいることは自然だと思います。学校にはやりたい部活動がないが、土日に地域クラブで活動できると考えると、地域クラブに移行するメリットは大きいと思います。</p>
<p>高山委員</p>	<p>「AGEO地域クラブ」が「レクリエーション志向」なのか「勝利至上志向」なのか、どこかではっきりした方が良いのではないかと思います。</p>
<p>只隈委員長</p>	<p>「地域クラブ」としては、子供たちにとって「入りやすい」「運動習慣づくりができる」「健康づくりに取り組める」こと等を大切にすべきと考えます。「勝利至上志向」は「部活動の意義、良い部分を継承する」という点や、「生涯スポーツにつなぐ」という趣旨にそぐわないと考えます。</p>
<p>小林委員</p>	<p>スポーツ少年団としては、子供たちが、今後、大会に出られないという事態になってしまうことは、そのクラブの魅力が半減することだと考えます。</p>
<p>事務局</p>	<p>当初は、令和8年度の新人体育大会から、AGEO地域クラブとして大会に参加することを目指していましたが、まだそこまで準備が整っていません。中体連主催大会への参加については、当面の間、平日の部活動から参加することが基本となります。</p>
<p>高山委員</p>	<p>「令和8年度まではレクリエーション志向として活動する」など、AGEO地域クラブの在り方を明確にしていくことも必要ではないでしょうか。既存のクラブチームへの生徒の推移についてもリサーチできると、全体像も見えてくると思います。</p>
<p>只隈委員長</p>	<p>今後、タスクフォースでも意見が出ると思います。</p>
<p>根本委員</p>	<p>教育委員会には、学校での対応に迷いが出ないように、「どこまで決まっています、どこまでが案なのか」についての周知を強化してもらいたいので</p>

	<p>す。保護者からの問い合わせがあるが、分からないことについては答えられません。</p>
<p>宮田委員</p>	<p>これまでは、部活動の実績等をもとにした進路も考えられましたが、今は、「子供が夢を叶えるためには、クラブチームに行かなければいけないのか」と心配している保護者もいるようです。</p>
<p>只隈委員長</p>	<p>日本の部活動は、世界でも特異なケースとして育まれた文化です。但し課題も多くあります。そして上尾市は、課題に1つ1つ向き合いながら、地域展開を丁寧に進めています。今後も、地域展開を進めていくことを前提とした議論を行っていきたいと思います。</p>
<p>只隈委員長</p>	<p>次に、報告（2）令和7年度地域クラブ活動実証事業の進捗状況について、事務局より説明願います。</p>
<p>事務局</p>	<p>報告（2）令和7年度地域クラブ活動実証事業の進捗状況について、御説明いたします。事業は、「AGEO地域クラブ」実証事業と、「イングリッシュサロン」事業となります。</p> <p>最初に「AGEO地域クラブ」事業に関する現在までの事業内容を御確認ください。</p> <p>10頁は、令和7年9月25日現在の開設種目・種目別参加申込者数をまとめたものとなります。なお、現時点で計832名の参加申込者となっております。また、指導者との調整が付き、10月より、新規種目として「美術」を開設する運びとなりました。すでに参加者募集は終了しており、最新の情報で15名の参加申込者がございました。これで21種目にわたるクラブの開設に至ったということになります。下段につきましては、前回本協議会より御要望いただきました、学校別参加者数と全体に占める割合をまとめたものを掲載してございます。</p> <p>次に12頁下段、「AGEO地域クラブ」公式Instagramについての運用状況ですが、AGEO地域クラブ統括コーディネーターの管理の下、SNSを通じた情報発信に積極的に取り組んでおります。</p> <p>続いて、13頁を御覧ください。こちらは、令和7年9月23日に開催した、イオンモール上尾様との共同イベントについての記載となります。なお、記載のとおり、イベントの企画・運営はすべて、AGEO地域クラブ統括コーディネーターが実施してございます。当日は、家庭科クラブ、フラダンスクラブ、合唱クラブが出演、出店を行いました。また、AGEO地域クラブ統括コーディネーターの交渉により、ラグビー</p>

元日本代表の田中史朗選手によるトークショーや、株式会社ミズノ様による体験イベントの実施も行うことができました。今後も継続的なイベント開催につなげられればと考えております。

次に、事業推進の過程で認識しております課題について御説明いたします。

資料14頁(7)を御覧ください。「次年度に向けた主な課題と解決の方向性(案)」でございます。

1点目の課題は「多種目」「多志向」な環境づくりと持続可能な経営体制の構築に係る課題です。今年度は、「参加者が少ない種目」につきましても原則設置し、多様なニーズに応え得る体制づくりを行っていますが、現実的な課題として、「参加者が少ない種目」を多く設置してしまうと、AGEO地域クラブ全体の経営状況を圧迫する、経営が立ち行かなくなる、という問題が出てきております。その結果、運営資金が不足し、受益者負担額の増額等も検討せざるを得なくなってしまうと見込んでおります。

本課題を解決するため、来年度につきましては、開設条件に明確な「最低参加者数」を設け、数に満たない場合は、設置を見送るという方向性を検討しております。

2点目の課題は、基本方針に基づく「各種目4拠点」の構想を実現させる指導者の確保についてでございます。現行では、バレーボールなら埼玉上尾メディックス、バスケットボールならTrustクラブというように、「1種目につき1実施主体団体を認定」することで、各種目の地域クラブ活動を運営しておりますが、令和8年8月の完全実施時に、4拠点の活動を1団体では行えないのではという懸念が出てまいりました。

本課題を解決するために、1団体単独での4拠点对応ができない場合は、同種目で複数の統括団体を認定することも視野に入れてはどうかと考えております。

3点目の課題は、吹奏楽クラブの運営に係るものです。今年度、地域クラブとしての開設にいたったものの、楽器の共用や大型楽器の運搬等が困難であることから、限定的な実施にせざるを得ない状況が生まれております。

こうした状況から、課題解決の方向性として、吹奏楽については、原則、生徒の在籍校での活動ができるよう、指導者を他の種目に比べ、多く集めていき、活動拠点を増やして行うことが望ましいのではないかと考えております。

以上3点については、後ほど、特に御意見をいただけますと幸いに存じます。

続けて、「イングリッシュサロン」事業について、説明いたします。

本資料の14頁下段を御覧ください。今年度は、令和7年6月7日（土）より、第1回の活動をスタートしました。英語クラブも、今年度より「受益者負担」を参加者にお願いをさせていただき、AGEO地域クラブと同様のアプリ（スポスル）を利用して、1回当たり500円をキャッシュレスで徴収しております。

当初の募集における申込人数につきましては、「86名」でございました。9月には参加者の追加募集を行い、「13名」の応募がございました。よって、現在「99名」での活動となっております。

続いて、16頁を御覧ください。「イングリッシュサロン」事業につきましては、上尾市教育委員会ホームページを通じた広報活動にも取り組んでおります。現在、「イングリッシュサロン」事業の活動の様子が分かるよう、説明付きの画像をアップロードしております。なお「夢を育み未来を創る 上尾の『部活動改革』」ホームページに、「AGEO地域クラブ」実証事業と併せて掲載しております。

活動につきましては、4会場共に、コーディネーターがレッスンプランを考え、どの会場でも同様の質を担保できるようにしております。本資料16頁下段に掲載した画像を撮影した活動日には「自分たちで考えて英語のボードゲームを作ろう」という課題のもと、外国人講師にルールを説明したり、作成を手伝ってもらったりする過程において、生徒と外国人講師が、英語でコミュニケーションを取りながら活動しておりました。また9月には、各会場をオンラインで接続し、英語クイズを出し合うなどの活動も行っております。

なお、10月5日（日）には、上尾市国際交流協会主催「あげおワールドフェア2025」に「イングリッシュサロン」事業に参加する生徒が出演し、これまでの成果についてのステージ発表を行いました。

報告（2）令和7年度地域クラブ活動実証事業の進捗状況については、以上でございます。

只隈委員長

本日は、AGEO地域クラブ統括コーディネーターのサンワエナジークラブさんにも出席いただいています。これまでの事業運営を振り返ってみて如何ですか。

<p>統括コーディネーター</p>	<p>今年度は、5月より活動を開始いたしましたので、AGEO地域クラブにとっては、初めて夏季における熱中症対策を講じての活動を実施しました。事前に各種目の代表者と約束事項を確認したり、コーディネーターによる巡回時に氷を配布したりするなどの対策を行った結果、重症患者は出さずに終えることができたことが、最も良かったと感じている事項です。</p> <p>11月以降は、午後の活動を実施する際、日暮れが早くなることについても配慮してなければならないと考えております。</p> <p>イオンモール上尾でのイベントについては、クラブの成果発表の場としては大変効果的なものであったと感じております。子供たちにとって、一般の方々の前で発表したり、作成したものを販売したりする経験はこれまでなかなか無かったことだと思います。こうした地域クラブならではの体験ができる環境づくりをすることも大変重要なことだと考えています。</p> <p>なお、これまで退会者は35名おりますが、主に3年生で、理由としては「部活動の引退を受けて、受験勉強に専念したい」というものが多くなっております。ただ、現在も3年生について、活動を続けている生徒もおります。</p>
<p>只限委員長</p>	<p>来年度の完全実施時には、現時点で参加していない子供たちも参加を積極的に検討すると思います。そうした子供たちがクラブに魅力を感じられるよう、今後も取組の様子やクラブの活動方針を積極的に広報してほしいと思います。</p> <p>「イングリッシュサロン」事業についてはいかがでしょうか。</p>
<p>金子委員</p>	<p>ワールドフェアでは、「イングリッシュサロン」事業に参加する子供たちが、堂々と発表していました。おそらく、発表に向けての準備を一生懸命やったのだらうと感じました。また、日頃から良い活動をしていることが伺えました。子供たちの頑張りが、多くの方々の目に触れる形の成果発表はとても大事な機会だと考えています。</p>
<p>只限委員長</p>	<p>事務局より、「次年度に向けた課題と方向性の案」が示されました。</p>
<p>齋藤委員</p>	<p>吹奏楽クラブについての私見を述べさせていただきます。</p> <p>大型楽器は車でないと運搬ができず、生徒が運ぶことはできません。小さな楽器であれば、自転車等でも運搬が可能です。そうした前提を踏まえますと、学校所有の楽器を、その学校の施設で使用することが適切</p>

<p>只限委員長</p>	<p>だと感じます。</p> <p>但し、楽器のメンテナンスに対して費用がかかります。今後の課題として、どのように費用を捻出するかを検討する必要があると思います。</p> <p>演奏会への参加等についても、指導者にとっては大きな負担となることが考えられます。そうした際の運搬費用の確保についても、今後検討していく必要があると思います。</p> <p>事務局にお尋ねしますが、こうした課題等も踏まえつつ、楽器については、その活動施設にあるものを使用して活動していくことを想定しているのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>楽器の運搬等を考慮し、他の種目の原則である「4 拠点」以上の拠点が必要であると考えています。</p>
<p>只限委員長</p>	<p>その考えで良いと思います。全国的に吹奏楽については、学校ごとの枠組みで実施している例も多いようです。但し、参加者が少ない場合は開設しない等、基準は設けていった方が良いと思います。</p>
<p>宮田委員</p>	<p>吹奏楽部の活動を見ていますと、コンクール前の練習は合奏、普段はパート練習が主となっています。</p>
<p>齋藤委員</p>	<p>「AGEO地域クラブ」が設置する吹奏楽クラブの活動の主体が、合奏なのか、個人の技術の底上げといったパート練習なのか、方向性を定めることも重要だと思います。</p>
<p>只限委員長</p>	<p>スポーツ種目についての御意見はいかがでしょうか。</p>
<p>熊田委員</p>	<p>陸上競技の地域クラブの指導に携わっていますが、これまで大きなとまどいはなく、平日は学校で部活動を頑張り、土日にAGEO地域クラブで平日の補填をするという意識で指導しています。保護者との連絡のやり取りも、スポスルアプリを活用し、効果的にできています。</p> <p>今後は、令和8年度に参加者、拠点が増えることを考えると、指導者の確保は大きな課題になると考えます。団体ごとに指導者を確保することには限界があるため、教員の兼職兼業は1つの効果的な解決策に成り得ると思いますが、教員と団体を結び付ける役割を誰が担うか、ということが、大変重要になってくると思います。こうした懸念を踏まえ、今後は、各団体の中で指導者をまとめる役、マネジメントの役割をする担当者の存在もとても重要になると考えます。</p>

萩原副委員長	<p>私は、指導者が継続的に指導に関わり続けることができる環境づくりを心配しています。指導者には様々なライフステージの者がいますが、大学生などは、今後の就職により、指導が難しくなる場合もあると思います。</p> <p>また、「参加者が少ない場合の対応」については、多くのニーズに対応しようという姿勢は大切にしつつ、「種目設置における人数の下限」についてはしっかり設けていくべきと思います。指導者も、参加人数が少ないと、活動を企画運営するのが難しい場合があります。募集時に強調していくと良いと思います。</p>
高山委員	<p>先の話にはなりますが、AGEO地域クラブを卒団した生徒が、将来的に指導者として地域クラブに戻ってくる、というサイクルを推奨していくことも重要かと思います。</p>
只隈委員長	<p>指導者の確保については、複数の団体に指導をお願いすること等、柔軟な対応をどんどん取り入れていって良いと思います。また、人と人をつなぐことについても方策を検討し、迎える側も入る側も気持ちよく指導に当たれるようにしていってほしいと思います。</p>
只隈委員長	<p>それでは、これより協議に移ります。</p> <p>本日の協議題は、「『上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針』の一部改訂に向けて」です。</p> <p>まずは事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>協議に先立ちまして、事務局より説明申し上げます。</p> <p>現在、教育委員会では、これまでの実証事業実施による成果と課題、そして国の動向等を踏まえ、「上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針」を一部改訂することを検討しております。本日は、現時点の素案をお持ちいたしましたので、皆様に御意見を賜ればと存じます。</p> <p>本資料17頁、資料3を御覧ください。</p> <p>主な検討内容について御説明いたします。</p> <p>(1)につきましても、国の動向を踏まえたものとなります。先程も御説明いたしました。現行の「地域移行」という名称を、「地域展開」という名称に改めるというものです。</p> <p>国も、今年度中のガイドラインの改訂を示唆しておりますので、次年</p>

	<p>度当初より、本文言を本市推進事業におけるの統一名称としていきたいと考えております。</p> <p>続いて（２）につきましては、実証事業の成果・課題を受けての改訂事項となります。</p> <p>１点目は、「各種目の地域クラブ活動を統括する団体」についてです。各種目の地域クラブ活動を統括する団体を選定する際、「１団体単独での４拠点の活動運営」が可能な統括団体が無い場合、複数の団体を選定することを柔軟に取り入れられるように方針を改めるというものです。</p> <p>２点目は、吹奏楽クラブの設置に関する方向性等を見据えたものとなります。設置する拠点数につきましては、種目ごとに柔軟に拠点数を検討できるように方針を改めるものとなります。</p> <p>続いて、（３）につきましては「AGEO地域クラブからの大会参加」について、令和８年度以降も、当面の間は、平日の学校部活動からの中大会出場が基本となる見込みであることから、そのことを記したいと考えております。</p> <p>最後に（４）につきましては、すでに平日の部活動改革について、検討を開始しておりますので、実態に即すよう、内容を改めること等を記載しております。</p> <p>本日「別冊資料⑦」として「上尾市における部活動の地域展開に向けた基本方針（一部改訂【案】）」を配布させていただきました。そちらも御確認いただきまして、この後、御協議をいただけますと幸いです。</p> <p>なお、本基本方針の一部改訂当たっては、上尾市教育委員会定例会にて、今年度中に審議・決議いただく予定で現在考えております。</p> <p>説明は以上です。</p>
只限委員長	<p>中体連主催大会へのAGEO地域クラブの参加についてですが、仮にAGEO地域クラブに所属していても、学校部活動から、中体連主催大会に出られるのでしょうか。</p>
事務局	<p>可能です。なお、学校部活動と並行し、AGEO地域クラブとして、県の規定に基づき、大会参加を実施するかについては、現在検討中です。</p>

宮田委員	<p>令和8年8月以降は休日の部活動は行わないとしていますが、平日と休日の活動が違くと、練習試合等を通じたチームの強化ができない状態での大会参加になります。教員の中には、「強化ができないなら指導はしたくない」という者もいます。結果を求めることも、教員の指導のモチベーションの1つです。学校部活動からの大会参加を早期に止め、AGEO地域クラブから大会参加することが出来れば、そうした教員が兼職兼業をして指導に従事し、頑張った子供たちとともに、気持ちよく大会に参加することができるのではないのでしょうか。</p>
只隈委員長	<p>AGEO地域クラブとして大会に参加するメリットとしては、人数不足等でチームが組めない学校についても、出場できるようになることがあると思います。AGEO地域クラブとしての大会参加については、様々なところで協議する必要があると考えます。</p>
根本委員	<p>「指導したい人はできる、指導したくない人はしなくてよい」という環境がベストだと考えます。上尾市の学校部活動は、これまで様々な制限がかかり、土日どちらかのみ活動になったり、朝練もできなくなったりするなど、それが原因で競技力が下がってしまったという見方もあります。「勝つこと」を味わうことが減ってきている子供たちが、上尾市に増えていることは、考えていかなければいけないことではないのでしょうか。また、地域展開はせず「拠点校部活動」を実施するという考え方も、1つの可能性だと考えています。</p>
只隈委員長	<p>「拠点校部活動」を実施している自治体は、小規模自治体が多い印象です。スポーツの本質は、競技性の向上だけでなく、人間性の成長も重視すべきであると考えます。スポーツが子供たちの健全な育成につながるようAGEO地域クラブをどのような環境にしていくか、しっかり考えるべきだと思います。</p>
高山委員	<p>大会参加についてですが、まず「個人種目からAGEO地域クラブとして中学校体育連盟主催の大会に参加を試みる」などはできないのでしょうか。ずっと議論が平行線をたどるのは良くないと思います。できそうなところから進めていくことも、AGEO地域クラブの子供たちのモチベーションのアップ等を考えると重要なことなのではないのでしょうか。</p>
只隈委員長	<p>スポーツ庁は、令和13年度までに、休日の地域展開を完全実施することを示しています。後から他の自治体が追い付いてきますので、上尾市は、今後も課題と向き合いつつ、着実に推進していけば良いのではない</p>

小林委員	<p>いでしょうか。</p> <p>子供たちが中学校でも活躍できる環境づくりを、是非お願いしたいです。</p>
只隈委員長	<p>皆様から様々な御意見をいただきましたが、本協議会としては、事務局に、ここで出た御意見を反映した上で、引き続き、本事業を進めていただくということで御異議ございませんか。</p>
一同	<p>(委員のうなずき)</p>
只隈委員長	<p>長時間に渡り、貴重な御意見ありがとうございました。進行への御協力ありがとうございました。司会を事務局にお返しいたします。</p>